

# ISO/TC 315 第1回総会（バーチャル）が開催

## ■ 開催概要

日程：2021年6月2日（水）～4日（金）

会議スケジュール：

会場：Zoom

出席者：約50名が参加

（日本、中国、韓国、インドネシア、タイ、フランス、英国、インド、ISO/CS）

6/2（水） 19:00-21:00	6/3（木） 19:00-21:00	6/4（金） 19:00-21:00
総会	総会	総会

## ■ 総会結果

- ISO/TC315（コールドチェーン物流）は、2021年1月に日本提案により設立されたコールドチェーン物流に関する国際標準化を取り扱う委員会です。
- 6月2日～4日にISO/TC315の第1回総会が開催され、8か国から約50名のエキスパートが参加し、活発な議論が行われました（日本からは延べ18名が出席）。
- TCのタイトル及びスコープの確認を行いました。
- 各国プレゼン：日本、中国、韓国から今後提案予定のプロジェクトについての説明と意見交換が行われました。日本からは、BtoBを対象としたコールドチェーン物流サービスの説明を行いました。近く各国から新規プロジェクトの提案が提出される予定です。
- TC戦略ビジネスプランを検討するグループ、議長アドバイザーグループ及び用語に関する調整グループなど、今後のTCの活動を支援する各グループの設置が決定しました。
- 次回、第2回ISO/TC315総会は2022年1月～2月に開催する予定です。

## ■ TC315のタイトル及びスコープ

- ✓ タイトルについては、変更することなく確認されました。
- ✓ スコープについては、除外すべきTCにISO/TC 34/SC 17 (食品安全マネジメントシステム)、ISO/TC 86 (冷凍技術及び空気調和・技術)、ISO/TC 104 (貨物コンテナ)、ISO/TC 234 (漁業・水産・養殖)及びISO/TC 276 (バイオテクノロジー)を追加しました。また、本文にラベリングに関する記述を追記しました。
- ✓ スコープ、タイトルともに、1か月間のCIB (委員会内投票) を経て決定する予定です。

**タイトル:** コールドチェーン物流

**スコープ:**

コールドチェーン物流分野の標準化。

以下の事項を含む (ただし、これらに限定されない)。

- ・ 保冷荷物の運送／保管サービスの取引条件、保冷荷物の取扱い (引受け、積込み、積替え、保管、仕分け、輸配送)
- 冷蔵・冷凍施設の維持・管理方法、コールドチェーン全体を通じた品質管理方法 (温度監視・管理、破損・紛失・遅延防止等)
- ・ 運送／保管サービスにおける衛生管理 (荷物の汚染防止)
  - ・ 効率的な物流の促進
  - ・ 人員管理、教育訓練、作業員及び作業場の安全管理
  - ・ 運送／保管サービスの安全と信頼性
  - ・ 顧客管理、貨物／荷物追跡 (ラベリングを含む) などの情報管理とデータ処理、および用語

除外:

- ・ -ISO/TC 34 (食品)、ISO/TC 34/SC 17 (食品安全マネジメントシステム)、ISO/TC 86 (冷凍技術及び空気調和・技術)、ISO/TC 104 (貨物コンテナ)、ISO/TC 122 (包装)、ISO/TC 234 (漁業・水産・養殖)、ISO/TC 276 (バイオテクノロジー)、ISO/TC 283 (労働安全衛生マネジメント) 及びISO/TC 304 (ヘルスケア組織管理)で扱われる標準化

## トピック

### ■ 新規提案に関する各国からのプレゼン、メンバーからの情報提供

#### 主な議論：

- ✓ 日本、中国、韓国から今後提案予定のプロジェクトについての説明と意見交換が行われました。
- ✓ 日本からは、BtoBを対象としたコールドチェーン物流サービスの説明を行いました。
- ✓ インドネシアからは、自国のコールドチェーン物流の現状に関する情報提供がありました。

#### 今後の予定：

- ✓ 近く各国から新規プロジェクトの提案が提出される予定です。

### ■ TC傘下の各グループの設置

#### 主な議論：

- ✓ 議長アドバイザリーグループ、TC戦略ビジネスプランを検討するグループ及び用語に関する調整グループの設置が決定しました。各グループの主な役割は以下のとおりです。

- CAG（議長アドバイザリーグループ）： TC内の戦略的事項の検討、プロジェクトの優先順位付け、  
新規提案のレビュー及び提案者へのアドバイス、並びにその他の検討、調整事項への対応
- TG1（戦略ビジネスプラン）： TC315戦略ビジネスプラン素案の作成
- TG2（用語）： コールドチェーン用語に関する情報収集及び標準化に向けた検討

#### 今後の予定：

- ✓ 各グループは活動を開始し、次回TC315総会で進捗報告を行います。

## トピック

### ■ ISO/TC34/SC17（食品安全マネジメントシステム）からの情報提供、ISO23412の活用事例の紹介

- ✓ 湯川委員より、ISO23412（小口保冷配送サービス）の活用事例の紹介として、FSSC22000 Addendum ISO23412（任意の追加要求事項）の発行について情報提供がありました。

### ■ リエゾン

- ✓ ISO/PC315（小口保冷配送サービス）の時代からの以下のリエゾンの継続維持について了承されました。
  - ISO/TC 34/SC 17（食品安全マネジメントシステム）、ISO/TC 234（漁業・水産・養殖）、ISO/PC 308（加工・流通過程の管理）
- ✓ さらに、以下のリエゾンの追加及びリエゾンオフィサーが承認されました。
  - ISO/TC122（包装）、ISO/PC321（電子商取引におけるトランザクション保証）

### ■ 今後の国際会議

- ✓ 次回TC総会の開催について、日本の森委員長から次回総会の日本での開催の申し出がありました。次回以降の開催地についてもメンバーに募集を行いました。
- ✓ 次回TC315総会は2022年1月～2月頃に状況が許せば対面で日本で開催する。